

吉沢かつらの一般質問



子ども子育て支援新制度実施にあたり

公的保育と保育の質を守る

来年からスタートする子ども子育て支援新制度は、保育に格差を持ち込むものです。制度が実施された場合、保護者や子どもたちに不利益が生じないように、対応が求められます。

定することになります。私は「保育料については負担増にならないよう配慮すべき」と質問。部長は「現行の保育料を基準に検討する」と答えました。

パートでも8時間保育の保障を

現行では保護者の就労時間が短くても8時間保育が保障されています。しかし新制度ではパートなど短時間就労の場合、保育時間が8時間より短く認定されることが予想されます。

私が「現行通り8時間保育を国に求めるべき」と質すと、福祉部長は「国の説明を受け対応する」と答えました。

保育料は国の基準に基づき市が設

質の確保と認可保育所の増設求め



国は新制度で待機児解消ができています。しかし、新制度で新たに導入される小規模保育施設は、保育者の資格要件の緩和など保育の基準が低く、質が確保されません。私は「待機児童の解消は保育の質を確保できる認可保育所の増設で対応すべき」と質問。部長は「そうしたことも基本的な認識として持っている」という答弁に留まりました。

この他、保育士の処遇改善、株式会社参入の問題などを質問しました。新制度は、すでに財源不足が見込まれ一部先送りになる見込みです。実施前からほころびを見せている制度は中止・撤回するしかありません。

ホームページ見てね!

日本共産党市議団ではホームページを開設しています。「吉沢かつらのページ」では、活動報告や党の政策などをお伝えしています。



日本共産党市議会議員

吉沢かつらの 市議会レポート

2014年春号

こんにちは。待ち遠しかった春がようやくやってきましたね。2月には2度の大雪が降り、被害にあわれたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

さて、市の1年間の予算を決める3月議会が終わりましたので、ご報告させていただきます。



みなさんの願い市政・国政へと

新年度予算には、これまで署名に取り組んできた小中学校のエアコン(クーラー)設置において、効果や費用を検証するためのエアコン設置費用が計上されました。全ての普通教室へのエアコン設置におけ一歩前進です。今後、市民の力でこの運動を大きく広げていきましょう。



エソヤマザクラ

3月議会で私は「子ども医療費助成制度の創設を求める意見書」を提案し、全会一致で採択されました。当初は「子ども医療費無料制度」の創設を国に求める意見書でしたが、入間市議会では議員提案の意見書の場合、全会一致でないと採択されません。そこで全ての会派に賛同してもらえよう柔軟に対応し、他の会派の意見も取り入れた中身に修正しました。

「一点共闘」で、市政にも国政にもみなさんの願いを届けて頑張ります。

入間市駅で宣伝を行っています。見かけたら気軽に声をかけて下さい

厳しい生活応援の姿勢見られず

日本共産党は平成26年度11予算のうち、一般会計、後期高齢者医療会計・国保会計の3議案に反対しました。

配食サービスへの補助廃止

一般会計予算では、行政改革長期プランにそって下水道料金の見直し、小中学校の分離・統廃合の検討などが行われます。

住民税の復興増税が平成26年度から10年間、市民税均等割に500円が上乘せされます。一方で法人税の復興増税はわずか3年間だったものが、1年前倒して廃止されます。

住民基本台帳ネットワークシステム事業は26年度予算に新たなシステム改修3499万円が計上されていますが、住基カードは市民にほとんど活用されていません。

社会教育団体の公民館使用料有料を継続。配食サービス800円の弁当に400円のお年寄りへの補助が半年後廃止されます。

際限ない負担増の特別会計

後期高齢者医療特別会計では、26年度、均等割額が580円増で4万2440円に、所得割が8.25%から8.29%へ、限度額が55万円から57万円へと改定の度に引き上げ

ました。25年度でも保険料を滞納している人が、300人を超え、負担は限界に達しています。

国民健康保険特別会計は、加入者の所得が14年間で90万円も減額し、払いたくても払えない人の保険証を取り上げる10割負担の資格証明書が発行されています。

日本共産党は、市民生活がいつそう厳しくなるなか、保険料減免制度の拡充を強く要請しています。



わびすけの花

消費増税でない財政再建

4月から年金の引き下げや生活保護費の削減。国民は家計の負担が重くなる79%、家計支出を減らすが55%。「消費増税分は全額社会保障の充実に回す」の公約違反への国民の反応。8兆円負担増は来年10月から13兆円に。

日本共産党は、消費増税ではなく、「社会保障拡充と財政再建の財源を示した経済提言」を主張。巨大開発などのムダづかい見直し、大企業・大金持ちに応分の負担を求める税制改革こそ進めるべき。国民の所得を増やして日本経済を立て直せば、税収も増やすことができます。政治を変えましょう。

共産党議員の一般質問

石田よしお議員

ブラック企業規制し、若者を守れ！

小出わたる議員

住宅リフォーム助成、学童年齢拡大

安道よし子議員

後期高齢者医療・学校給食の充実

吉沢かつら議員

公的保育と保育の質を守るために

子ども医療費助成を国の制度に

共産党が提案した「子ども医療費助成制度の創設を求める意見書」が採択されました。多くの自治体で子ども医療費無料制度が実施されています。これを国の制度にして、全ての子どものように医療を保障するよう求めています。

請願を受け提案された「容器リサイクル法の改正を求める意見書」も採択されました。共産党は「レジ袋の有料化」が明記されていることから請願には反対しましたが、意見書ではこの文言が修正されたことから賛成しました。

市民の切実な願いを届け26年度予算化へ

26年度予算に日本共産党市議団と市民が強く要望してきた小中学校へのエアコン設置の予算が、2教室分108万円計上されました。全ての学校の普通教室へのエアコン設置に向け一歩前進です。



エアコン設置を請

介護保険関連予算では、切実な市民要望が一部実り、特養ホーム

2施設、210床拡充します。

今議会で「地域福祉基金条例」の全部改正が全会一致で可決されました。利息による事業を改正して、1億5000万円の基金を取り崩し、福祉施策の充実のために活用できることとなります。

党市議団はこれまで毎年、基金を取り崩し市民福祉の向上に活用するよう求めてきました。長年の指摘が条例改正に反映されました。今後、基金は地域福祉の充実にかされることとなります。

日本共産党市議会報告

2014年4月

発行/日本共産党入間市議団
連絡先/電話2966-1250 Fax2963-6653

石田よしお 2964-4048 070(5086)2075

安道よし子 2962-8082 090(4811)0553

吉沢かつら 2964-0208 090(3514)3077

小出わたる 2932-7884 090(6542)3883